

緊急告知 5月東京都が延期していた築地市場跡地21haの事業計画を発表予定！  
私たちが江戸・東京の大切な引継ぎたい歴史を知る前に埋蔵文化財登録と都旧跡  
指定のある江戸東京のレガシー史跡「浴恩園跡」の敷地を壊して再開発？？



## 緊急トークショーの開催！第3回浴恩園潮入歩き+集い

4/27 (土) PM2時00分 潮入歩き (浜離宮庭園大手門前集合)

18時30分 トークショー

会場：ラピスビル東京労働会館 6F 大塚駅徒歩6分

東京都築地市場跡地に江戸後期の宰相・松平定信公の潮入庭園・  
都旧跡「浴恩園」を残し現地再生しよう！



楽翁こと松平定信公

### 目的

東京都築地市場再開発地に、東京都の恩人（明治政府の蓄財は定信の手腕の成果なのは有名で、渋沢栄一の敬慕の対象となる）楽翁公・松平定信の下屋敷「浴恩園」があります。

江戸後期に老中となり「寛政の改革」で幕政を担い江戸を再生させた定信が白河藩主時代に江戸に住み、様々な植物や花を植物学のプロとして育て自然との関りを文芸に高め、多くの文人との交流を重ねた場所こそが、天下の名園と呼ばれる築地5丁目の

「浴恩園」なのです。定信がなぜ浴恩園と命名したか、ここで定信の謙虚な思想を知りますが、皆が働く世の中で自分は白河藩の恩を受け、この庭園で植物を育て自然を愛で和歌や漢詩に生きるが、皆にも「恩を浴びるような園」の恩恵を分けるという理由です。

そこはまさに築地に因んだ歴史文化が遺された地で、埋蔵文化財および東京都指定旧跡浴恩園跡の地で、文化財保護が行われて来たレガシーの地です。

しかし、東京都は築地市場の豊洲移転後のこの「浴恩園」の指定旧跡浴恩園の文化財の発掘から保存再生についての方策を地元の区民をはじめ、都民や国民に告知し話し合うことなしに、再開発計画を進めようとしています。2023年には事業者選定を終え、2024年5月には事業計画を発表しようとしています。再開発有りきで「浴恩園」を無視した計画を進め、「史跡を壊そう」としていると危惧します。

より多くの市民が、「埋蔵文化財であり都旧指定旧跡の浴恩園」がどのように素晴らしい名園なのかを深く知り、私たちの暮らしに活用できたらどれほど素晴らしく、「夢のある築地市場跡地利用の実現化」ができることでしょうか。話し合いの時間を慌てる必要は無く、ゆっくりと時間をかけて話し合ってください。

浴恩園の文化財と庭園の在り方について、私たちは「文化財保存全国協議会」の関東委員長の勅使河原彰氏、日本イコモス国内委員会事務局長の矢野和之氏両氏に埋蔵文化財と都指定旧跡の価値と今後の再生に関してアドバイスを頂きました。そのご示唆は「大勢の方々に素晴らしさを理解して頂き、東京都に文書やメールで意見を出す事、浴恩園の現地再生の必要性を大きな声で訴えること」です。ごくあたりまえの応援が、一人一人の小さな声のつながりが、あなたの力が必要なのです。

再開発という近頃は、特定の人が利用する事務所や商業施設、高層マンション群など目先の経済優先の計画ばかりなのですが、江戸時代から続いてきた国際都市東京にふさわしい姿は、築地の歴史に因んだ生業と暮らしの形があり、歴史を継承する「浴恩園」の再生なのではないでしょうか。

また、経済性だけではなくエコロジーやコモン、潮入庭園ネットによるガーデンシティ化を目指すなど、東京の水源地から連携する水循環・里山・土中循環など様々な環境の充実を望みます。どうぞ皆様の力をお貸しください。【皆様の署名・アンケート・東京都へのメール送付にご協力をお願いします。】今回のトークショーではまず、浴恩園とはどんな庭園であったのかを、その魅力から解き明かしていきましょう。